

国際運輸労連

第 43 回世界大会

2014 年 8 月 14 日

女性交運労働者総会

報告書

女性交運労働者総会は 2014 年 8 月 14 日に開催された。

開会式

ダイアナ・ホランド女性委員会議長(英、ユナイト)が全参加者を歓迎し、大会のホスト役を務めるエカテリーナ・ヨルダノヴァと FTTUB に謝辞を述べた。特に女性がホスト役を務めることの意義に言及した。

スティーブ・コットン書記長代行が参加者を歓迎した。書記長代行は、女性の活動プログラムに努めることを約束し、「女性に対する暴力に『ノー』を」キャンペーン」を全面的に支援すると述べた。

エカテリーナ・ヨルダノヴァ（ブルガリア、FTTUB）がブルガリアを代表する講演者を紹介した。

マルガリータ・ポポヴァ副大統領が参加者を歓迎し、女性が組合で積極的な活動をし、お互いが指導的立場につけるように支援し合い、ともに平和のために努力するよう奨励し、これは社会正義なくしては達成できないと述べた。

ヨルダンカ・ファンダコーヴァ・ソフィア市長が参加者を歓迎し、チームワークと良好なパートナーシップがいかに女性により結果をもたらすかについて話した。市長はまた、「女性に対する暴力に『ノー』をキャンペーン」と「愛の橋」の重要性を強調し、ソフィア市がこれまで市の交通に関わる女性を FTTUB とともにいかに支援してきたかを述べた。

アン・アンダーソン（ガイアナ、CCWU）がホランドを報告者に推薦した。ホランドは、アンダーソンとカルソウム・バーカラの両女性委員会副議長、ブリギッタ・パス女性副会長、アリソン・マクギャリーITF 女性コーディネーター、ジョディ・エバンズ ITF 女性副コーディネーターを紹介した。

議題 1：報告者、投票立会人、投票集計人

報告者：ダイアナ・ホランド（英）

投票立会人：モニク・ヴァービーク（インド）、サキ・リズワナ（バングラデシュ）

投票集計人：テリー・マスト（米）、スーザン・アヨイ（ケニア）

議題 2：大会テーマ文書

総会は、大会テーマ文書を採択した。テーマ文書には 2014 年 1 月にデリーで開催された女性総会で提起された目標が包括されている。

議題 3：4 年間の活動計画

総会参加者は、提示された 2014-2018 年の優先課題を採択した。

マクギャリー・女性コーディネーターが大会テーマ文書、女性の政策文書「グローバル危機からグローバル正義へ：女性交運労働者の反撃」、デリーの女性総会の報告、2014-2018 年の活動計画を紹介した。

マクギャリーは 2014-2018 年の改善をもたらす優先プログラム、女性交運労働者が直面する課題、提案されている「グローバル危機からグローバル正義へ：女性交運労働者の反撃：2014-2018 年の優先課題」の概要を説明した。

2010-2014 年の活動報告と 4 か年の活動計画を以下の女性が提示した：

- ・ シーマ・モハン（インド、TDWU、港湾労働者オルガナイザー）
- ・ ファティマ・アグアド（スペイン、CCOO、ITF 青年委員会共同議長）
- ・ ゼナイボ・ハボ・バーマ（ニジェール、SYNATRA、インフォーマル労働者プロジェクト）
- ・ メアリー・リュー（シンガポール、SMOU、アジア太平洋地域女性委員会代表）
- ・ トレイシー・メイヒュー（米 SIU、水産女性委員会代表）

- アルレッテ・ゲイ・シフェリ（チリ、STCLA、中南米女性委員会代表）
- カルソウム・バーカラ（チュニジア、FNCT、女性委員会副議長）
- スーザン・アヨイ（ケニア港湾労組、アフリカ女性委員会代表）
- ミッシェル・マイヤーズ（オーストラリア、MUA、アジア太平洋地域女性委員会代表）
- オルガ・バクレンコ（ロシア、ROSPROFZHEL、欧州女性委員会代表）
- ウィルマ・クレメンス（バルバドス、BWU、路面運輸女性委員会代表）
- アリシア・カストロ（アルゼンチン、AAA、ITF 執行委員、中南米女性委員会代表）
- エレイン・バーナード（ハーバード大学、労働と職業生活プログラム）
- ブリギッタ・パス（オランダ、FNV、ITF 女性副会長）
- シーラ・ナイカワデ（インド、マハラシュトラ州路面運輸労組）
- レスリー・ディアス（カナダ、Unifor、北米女性委員会代表）
- アルマ・テレサ・ゴンザレス・アヴィレズ（メキシコ、ATM、中南米女性代表）
- ヴァレリア・ラトロン（フランス、CFDT、欧州女性委員会代表）
- カルパナ・デザイ（インド、ムンバイ TDWU、ITF 便宜港湾コーディネーター）

ホランドが ITF の新たな女性活動計画「グローバル危機からグローバル正義へ」の概要を説明し、組織化、女性の代表制の強化、女性に対する暴力反対運動、私たちの公共サービス運動などに焦点をあてた。ホランドは運動の継続的強化のため、暴力に『ノー』にちなんだ写真を women@itf.org.uk まで送るよう に全ての参加者に奨励した。

全体会議の議論の中で以下の女性に関する問題が提起された：

- ITF 女性に対する暴力撤廃グローバルキャンペーンや、加盟組合が既に取り組んでいる行動を支持する。この問題は発言者の半分以上が言及した。
- カタール航空における人権と労働権の侵害
- パレスチナとの連帯。暴力を終わらせ、検問所を撤廃する。
- 安全衛生の意識が低下していること、いじめや嫌がらせ、セクハラ、年齢やジェンダーによる差別、賃金の不平等、産育休と保育へのアクセス、介護に従事する女性労働者に対する給付、民営化、悪化する労働条件、女性のキャリア開発と雇用機会の支援などの問題に関して懸念が表明された。
- 教育と訓練：リーダーシップ、女性に対する暴力、組織化、HIV/エイズ、いじめと嫌がらせ、安全衛生

- 地域ネットワークの構築
- 西アフリカにおけるエボラ熱の発生
- 人身売買
- より多くの女性に交通運輸産業に参入してもらうため、玩具の世界でのジェンダー分離を止めさせる。

総会では、ITF のカタール航空キャンペーンへの支持が表明された。また、ワールドカップのカタール開催中止を求める必要があることも確認された。

マクギャリー・女性コーディネーターは、参加者の意見に謝辞を述べ、安全衛生、ワークライフバランス、出産に関する権利、年配の女性労働者の問題などを 2014-2018 年の活動計画に盛り込むことに合意した。

デリーの女性総会で採択された以下の声明には、2014-2018 年の活動計画の優先事項が記されている：

今大会は、2010-2014 年の女性の活動計画を確実に実施し、世界中の職場や地域社会、組合、地域において改善をもたらした、ITF 女性委員会と、2014 年の ITF 世界女性労働者総会を称え、

今大会はまた、経済危機や温暖化の危機を含む、女性が直面するグローバル化の悲惨な結果に対応し、これらの課題に対応できるよう、組合を強化する支援をするため、女性交運労働者を動員し、組織化する決意を新たにした。

そのため、大会は、ITF 女性委員会と ITF 女性部に対し、加盟組合、産別部会、地域、ITF 書記局と協力し、2014-2018 年の活動計画を実施するよう指示した。活動計画の概要は、政策文書「グローバルな危機からグローバルな正義へ：女性交運労働者の反撃」中の ITF 女性総会の結論と勧告に記されており、その中では、以下の通り、女性交運労働者の組織化、女性交運労働者に対する暴力撤廃、女性の代表レベルが低いことと闘い、あらゆるレベルで女性交運労働者のリーダーを育成していくこと、世界中でグローバル危機が女性交運労働者に及ぼした影響と闘うことが優先課題とされている：

1. 3月8日と11月25日の女性の動員、以下のような、現在も継続している闘争のための支援と資金の確保を含め、世界中で女性交運労働者が達成した力強い功績を認識する：

- 「インフォーマル」女性交運労働者や青年女性労働者、「非伝統的な」交通運輸業務に就く女性を組織化するために行動する。
 - 交通運輸労組における女性交運労働者の過少認識の問題に取り組み、これを終わらせ、ITFや加盟組合において女性交運労働者を全面的に認識することを担保する。
2. 産別部会や各地域でITF加盟組合とともに最善の慣行を共有することを通じ、**強い組合を構築するために女性交通運輸労働者を組織化する**。交通運輸サプライチェーン、特に女性労働者が集中的に働いている、ロジスティックスの技術面や事務面のハブやコリドールで戦略的な女性労働者を組織する。清掃、ケータリング、コールセンターなど、不安定雇用の女性労働者を対象とした組織化キャンペーンを展開する加盟組合と協力する。
 3. 動員を図り、「私たちの公共サービス」のためのキャンペーンを展開することで、**世界中で女性交運労働者が経験している危機の影響に先手を打って取り組む**。女性が雇用、育児、医療サービスへのアクセスを得られるようにするための持続可能な交通運輸を促進するため、地域社会との協力関係を構築する。
 4. グローバル、地域レベルで**女性に対する暴力と闘うためのITF加盟組合のキャンペーンを強化する**。例えば、この分野で先頭に立って活動しているグローバル組織と協力関係を構築し、男女両方の交運労働者を関与させ、職場におけるジェンダーに基づく暴力やセクハラに関するILO条約を支持する。ITF女性委員会は2014-2018年の期間に女性に対する暴力に関する大きな会議を開催する計画を進める。
 5. 交通運輸労組、ITF産別部会、地域を支援し、男女平等と女性の代表制に**行動を実施する**。例えば、リーダーシップ開発プログラム、女性枠の設置、女性委員会、総会、コーディネーターの強化、継続的に女性の参加率を監視する。
 6. 国際労働組合総連合(ITUC)の「仲間に入れて」キャンペーンと連携し、ITFの**女性リーダーシップ・プログラム「変化をリードする」を拡大し、あらゆるレベルで、次の世代のための力強い組合を構築することを目指し、戦略を練り、後輩たちのモチベーションを上げ、動員し、メンターとなれるような、新しい世代のリーダーたちを育てるためにITF加盟組合を支援する**。

ITF の女性活動は前進する世界の女性運動の一部を成している。女性の権利について妥協すべきではない。ITF はあらゆるレベルで女性が指導的立場を果たす強い組合を構築している。ITF 加盟組合は男女平等とジェンダー正義のために断固とした立場を取り、職場、地域社会、組合内で女性がもつ要求や大志を前進させるべく、行動を取るべきだ。

女性総会はこの声明を承認し、大会に諮ることに合意した。

議題 4 : 動議

女性に対する暴力撤廃についてのフリンジ（サイドイベント）で、オーストラリア海事組合（MUA）の男性参加者が「女性に対して決して暴力を振るわず、黙認もしない」との誓いを立てたことを受け、総会は、「女性に対する暴力に関する第 11 号動議を支持し、同様の誓約を全体会議でもしてもらおうよう要請することで合意した。

ホランドが規約改正動議 F のスペイン語の翻訳に誤りがあり、正確な文言は、「代表団が 3 人以上から構成される場合は、1 人を女性とするものとする」であると明確にした。

決議委員会から女性総会に付託された動議はなかった。

議題 5 : 選挙

ホランドが総会の直後に投票が行われる可能性のある欧州代表を除き、産別部会や地域の女性代表を発表した。女性青年代表については 1 名の推薦があり、この 1 名が選出された。

女性の副会長についても、執行委員会が決めるのではなく、女性総会が直接選出できるようにすべきだとの提案があり、大会開催にあたっての努力を評価し、感謝の気持ちを込め、エカテリーナ・ヨルダノーヴァを女性副会長に推す声が上がった。

これを受け、この世界大会は素晴らしい大会であり、ヨルダノーヴァに謝辞を述べることは必要だが、手続きは通常通りにするべきだとの意見もあった。女性副会長の席は現在、空席ではなく、この提案が認められれば、将来的に執

行委員会内に女性代表の議席がなくなる可能性もあるとの懸念も表明された。

ホランドが、現在は執行委員の女性の中で、誰を女性副会長にするかを決めている点を確認し、手続きを変えるべきかの議論はここでは行わないが、それを支持する意見も多いことを察し、今後、議論の余地はあると留意し、今後は誰もが納得できる明確なプロセスを設置すると約束した。

総会は、現在の選挙手続きに関して、女性委員会が文書を作成することで合意した。必要な修正についてもこの文書で勧告することとし、次の大会までには選挙手続きが改善されるようにする。

以下の委員が選出された：

議長	Diana Holland (英、ユナイト)
副議長	Kalthoum Barkallah (チュニジア、FNCT)
副議長	Ann Anderson (ガイアナ、CCWU)
青年代表	Jasmin Labarda (フィリピン、AMOSUP)
産別部会代表	
民間航空	Wadha Salman Da'quis (ヨルダン、GTUWATT)
港湾	Monique Verbeeck (ベルギー、BTB)
水産	Tracy Mayhew (米、SIU)
内陸水運	Valerie Latron (フランス、CFDT)
鉄道	Gaebepe Molaodi (ボツワナ、BRAWU)
路面運輸	Wilma Clement (バルバドス、BWU)
船員	Lena Dyring (ノルウェー、NSU)
観光サービス	Simi Lalsingh (インド、NFIR)
アフリカ・アラブ	
地域代表	Maryam Jummai Bello Yassin (ナイジェリア、NURT)
地域代表	Kate Sanyane (南ア、SATAWU)
地域代表	Yvonne Adanlete Lawson (トーゴ、STPAL)
地域代表	Kalthoum Barkallah (チュニジア、FNCT)
アジア太平洋地域	
地域代表	Mich-Elle Myers (オーストラリア、MUA)
地域代表	Heity Ariaty (インドネシア、SPKA)
地域代表	Wang Mei-Yuan (台湾、TTLU)

地域代表	Sheela Naikwade(インド、MSTKS)
欧州	
地域代表	Silke Meder (ドイツ、ver.di)
地域代表	Nuria Belenguer (スペイン、UGT)
地域代表	Suzanne Gallhagen (スウェーデン、Kommunal)
地域代表	Diana Holland (英、ユナイト)
地域代表	Olga Fedorenko (ウクライナ、VPMU)
地域代表	Olga Vakulenko (ロシア、ROSPROFZHEL)
中南米・カリブ	
地域代表	Laura Cordoba (アルゼンチン、FNTCOTAC)
地域代表	Ann Anderson (ガイアナ、CCWU)
地域代表	Alma Teresa Gonzalez (メキシコ、ATM)
北米	
地域代表	Leslie Dias (カナダ、UNIFOR)
地域代表	Sara Gonzalez (米、IAM)
地域代表	Catina Sicoli (カナダ、SIU)

総会は、各地域の選挙グループで確認される以下の役職とともに、女性交通運輸労働者委員会の構成を上述メンバーとすることに合意した。

北米	
アフリカ・アラブ	Irene Kurgat (ケニア、DUK)
アジア太平洋	Mary Liew (シンガポール、SMOU)
欧州	Kaia Vask (エストニア、EMSA)
中南米・カリブ海地域	Arlette Gay (チリ、STCLA)
北米	Terri Mast (米、ILWU)

議題 6 : 閉会式

ホランドがこれまでの ITF 女性委員会への優れた貢献と、異なる世界が可能であることを示すために闘い続けてきたことに対し、アリシア・カストロに謝辞を述べた。

パディ・クラムリン ITF 会長は、より多くの女性指導者や代表を設け、不安定雇用の女性労働者を組織し、女性交運労働者に対する暴力を終わらせるため

の運動を続けるという、女性活動における 3 つの優先分野の達成に努力すると約束した。

クラムリン会長はスペイン UGT のエンパラ・ガルシア・サンチェスとケニア港湾労組のスーザン・アヨイのこれまでの女性委員会への貢献についても謝辞を述べ、二人に金バッチを贈呈した。会長はまた、メアリー・アクパン（ノルウェー、NUATE）、エレナ・ロドリゲス（スペイン、UGT）、ジャクリーン・スミス（ノルウェー、NSU）の貢献についても言及した。

ワールドマーチ・フォー・ウーマンのウィルヘルミーナ・トラウトも 2015 年の地域の準備活動に参加するよう、全参加者に促し、全世界の女性の正義のために闘うことを求めた。

ホランド議長が全参加者に謝意を述べ、閉会した。